

★ 3月3日 ★

心に残る卒業式でした。第67期生を支えた1、2年生、よく頑張りました。読高一丸たる取組は式場にお越しの皆様的心にも響いたことと存じます。式に鏤められた光は本校発展の未来を明るく照らすものとなりました。これは偏に生徒と職員が「おもい」を一つに晴れ舞台を整えたことによります。ひな壇に並ぶような3学年担任・主任。やり遂げたという充実感と感謝の笑顔がひとときわ輝きます。いつになく涙あ



る卒業式、3月3日の朝、胸をあつくして浸っています。

★ 卒業式 ★

あふれだす 夢と希望を胸に新たな翼を広げて Brush UP “D”

3/1 (水)

式 辞

残波の青き水面から宙に舞う 波の花 潮風は 高く高く押し上げ 座喜味城を俯瞰し 流るるは 南
降り注ぐめぐみ 緑溢るる校庭 思い出深き目映き学舎 皆清らなる

旅立ちの弥生3月。沖縄県立読谷高等学校第67期卒業の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして保護者の皆様、本校を代表して心よりお祝いを申し上げます。また、ご臨席を賜りましたご来賓の皆様には深く感謝申し上げます。

第67期生の皆さん、3年間はいかがでしたか。平成26年4月の入学式。体育館の花道からそのまま真新しい教室へ足を運びました。2学期には第5回舞台祭（『みんなで咲かそう笑顔の花 踊りな祭・笑いな祭・舞台祭』）、十分な準備期間が取れない中、先輩方の支えもあり、クラスが団結して発表に取り組みました。2年、同窓会から本校の新築と創立65周年を記念に校章の贈呈があり、校門から正面校舎4階壁面に設置して頂きました。同窓先輩方の「日々、読高生として志を高く高校生活を送って欲しい」との願いに、読高生として胸が高なりました。この心意気をもって、第18回学園祭（『青春輝石（アオハルダイヤモンド）～見せよ！読高プライド～』）に臨み、3年生を支え、1年生をリードしながら学園祭成功への大きな役割を果たしました。

3年、特に思い出深き学年となったのではないのでしょうか。第30回体育祭（『オドーレ・ハシーレ・アモーレ・体育祭!!』）、雨雲に覆われながらも何とか持ちこたえた開会式。その後は大粒の雨。日も差す中に迫る雨雲。時折の雨。終盤では天空に轟く雷。台風の影響によりきわどい状況下にも後輩をリードしながら最上級生としての存在感を發揮しました。心が揺すぶられるいい体育祭でした。今でも目を閉じると閉会式の場面が浮かんできます。水を極限までたたえた雲が運動場上空に留まり、皆その瞬間に備えていました。式台から全体を見回すと自信に満ちた表情が咲き誇っており、体育祭の勝者は読高生であると自ずと確信されました。その中心に整列しているはもちろん第67期生でした。この高校生活の一場面一場面がしっかりと結びつき、今、卒業という舞台に立っています。

平成28年度は歴史の転換点として記録されることになると思われます。ブレグジット（欧州連合からのイギリス脱退問題）やアメリカ大統領選挙結果はその象徴であり、世界情勢への影響は小さくありません。混沌としたユーロ情勢、混迷を極める中東情勢、日本近隣諸国への大きな不安、グローバル化は「歪み」つつもしばらく続くと予想されます。ですから、様々な厳しい状況の下において飛び交う情報の中から更なる真実を見極める努力をして頂きたい。先月まで公開されていた映画『海賊とよばれた男』は戦後の混乱期に巨大石油メジャーとしてのぎを削り難局を打開した出光佐三（出光興産株式会社創業者）がモデルとなっており、彼は「何をやるにしても考えて考え抜く。それが私の一生である」と言います。実はこの「考え抜く」ことが「己の人生」の糧を生み出すことになり、他から制御されることなくみずからの考えで事を行う「独立不羈」の精神を鍛え、その根本には「人間尊重、自己尊重、他人尊重」があると佐三は強調します。

本校の校章は胸にペンを抱き、翼を広げ、「真実の風」を受け、希望に満ちた未来を求める読高生の象徴でもあります。第67期生、どうか恐れずに、「感謝の心」を以てその羽を伸びやかにして舞って頂きたい。そして己の「ダイヤモンド」たるを自覚し、「夢実現への研磨」により一層の「輝き」を放って頂きたい。

本日ご臨席を賜り、卒業生の前途を祝福して下さっている皆様、また、ご列席いただいている保護者ご家族の皆様、重ねて、篤くお礼を申し上げ、式辞といたします。

★今後の主な行事日程★ 本日の作業、美しい教室、感謝を込めて磨き上げましょう☆☆☆☆！

- H29年 3月 3日(金) 早朝講座・1・2・総合学習 <1・2校時: 火①② 総合: ワックス作業>
 4日(土)
 6日(月) 早朝講座・1・2・3・4・5
 7日(火) 早朝講座・1・2・3・4 <金曜日時間割> <午後: 入検準備作業>
 8日(水) <入検・作業>
 14日(火) <入検・作業>

第2回敬換